

巻頭言

日本 ALS 協会北海道支部長
深瀬 和文

これから自分の活動について少しお話させてもらいます。

皆さんは自分が北海道の支部長をさせてもらっていることはご存知かと思いますが、昨年の総会で全国の理事も兼任させてもらうことになりました。

理事とはどんな仕事をするのかとよくわからない人もいるかと思いますが、ここで説明したいと思います。

まず団体の名称は一般社団法人日本 ALS 協会法人として運営されています。理事の主な仕事は地方の問題点を理事会で相談すること、そして問題点についてアドバイスをもらうことです。

理事には、事務局や渉外局といった多くの部署があります。理事は各地方のブロック責任者もしており、北海道は北海道・東北ブロックに所属していて、自分はブロックの副責任者になっており、支部長クラスと事務局が年一回集まってブロック会議を行っています。ブロック会議は毎年各地方で行われおり、去年は北海道の函館で行われました。

自分の部署としてはコミュニケーション支援委員の委員長をやらせて頂いています。

先日東京で難病コミュニケーション支援シンポジウム in 東京が行われ、これまで全国各地でコミュニケーション支援のシンポジウムが開催された地域の人をシンポジストとして集まり、北海道ではアイケア北海道さんがシンポジストとしてシンポジウムを行いました。北は北海道、南は佐賀県から多くの方が参加されました。理事の仕事は多くこれから全国の地方に行く機会が増えそうです。来期はかなりの行動をしなければならないと思います。

支部長と兼任は忙しいと思いますが、頑張っていきたいと思います。